令和５年９月度 理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　令和５年９月１日（金）
２．開 催 日 時　令和５年９月２０日（水）　１０時００分～１２時００分
３．開 催 場 所　理事全員の同意により Web 会議システムにより開催
４．理 事 総 数　２３人
５．監 事 総 数　３人
６．出席理事数　１９人（Web 会議システムによる出席１９人）
７．出席監事数　３人（Web 会議システムによる出席　３人）
８．出席理事の氏名

嶋崎 利行、曽根 光彰、玉木 寛之、安室 篤志、池田 隆久、伊藤 雄平、宗村 進之介、上島　健、川崎 一郎、秋山 正稔、山田　毅、富居 博治、高橋　明、横山 聡洋、竹内 博次、秦　研二、藤田 亮則、川村 道夫、後藤 章洋

９．出席監事の氏名

熊木　宏、近藤 恭二、山口 直延

１０．出席組合員の氏名

出席組合員はいない

１１．議長の氏名

嶋崎 利行

１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、理事会開会を宣し、本日の理事会は Web 会議システムを利用して行う旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認し、ただちに議事に入った。

第１号議案　第２８回熱処理国際会議（IFHTSE２０２３）募金協力について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、組合員企業５９社から１４６万円のお申し出をいただき、９月１５日に独立行政法人国際環境振興機構に寄附金の申込みを行ったことの報告があった。独立行政法人国際環境振興機構から手続きに時間が掛かるとの連絡があったため、１０月１０日を支払予定日としたことも報告があった。

今後の流れについては、独立行政法人国際環境振興機構からの寄附金申込受理書が届いてから指定口座に送金を行い、その後組合員企業宛に課税優遇措置を受けるための領収書が送られる予定であることの説明があった。

嶋崎議長から、寄附に対する協力について謝辞が述べられ、第２８回熱処理国際会議は、１１月１３日（月）から開催されることの説明があり、一般社団法人日本熱処理技術協会から情報を入手したらご案内すると述べられた。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第２号議案　（一社）日本金属熱処理工業会：外国人技能実習制度について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、一般社団法人日本金属熱処理工業会で取組んで来た外国人技能実習制度が厚生労働省の認定待ちであることの報告があった。

認定後は、一般社団法人日本金属熱処理工業会が評価試験実施機関となり、評価委員会、試験委員会を設置し、外国人技能実習生を受け入れる企業に対して出張方式にて評価試験行うことになり、その試験監督者を東部、中部、西部の各組合で各２０名を選出することになっていることの説明があった。９月４日に開催した東部の試験委員会において検討し、各エリアから理事及び監事の組合員企業を中心に試験監督者の選出案を作成したことの報告があり、資料に基づき、内容について説明があった。

嶋崎議長から、外国人技能実習制度については見直しの話しもあるが、粛々と準備を進めて行きたいことと試験監督者の選出のご協力をお願いしたいと述べられた。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第３号議案　インボイス制度について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、７月の理事会において組合としては当面免税事業者で行くことで承認いただいたが、１０月からのインボイス制度に対応して今後開催される講習会の受講料や広告料及び懇親会の参加費等については、会計事務所と相談し、「本体＋消費税」という表示で行うことの説明があり、組合員の皆様には、経過措置による対応をお願いしたいと説明があった。

嶋崎議長から、経過措置による対応について理解いただきたい旨述べられた。

安室専務理事から、組合員及び賛助会員に組合が免税事業者であることと経過措置による対応をお願いする旨のご案内を行うことの説明があった。

嶋崎議長から、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第４議案　青年部会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、東京都中小企業団体中央会主催の「組合まつり」［１１月８日（水）、９日（木）、日比谷国際フォーラム］への出展について今回の目的、テーマ、和光博物館の協力、前回の反省点を活かして、ブースの設営及び概算費用について説明があった。

嶋崎議長から、熱処理を全く知らない人が多いので、少しでも裾野を広げる意味では有意義だと思うが、ターゲットの若年層が来場するかは別として、役員の皆さんに体感して、雰囲気とか気づきとか感じたことを出して、今後の参画も含めてより良いものにして行きたいと述べられた。

安室専務理事から、前回提供いただいた熱処理に関する映像の再提供についてお願いしたところ、全員了承した。

横山理事（青年部会副部会長）から、前回作成した物を再利用できるので、新たにそろえるものは無いことと子供向けのたたら製鉄の資料と大人用の資料も準備していることの説明があり、そこから熱処理に繋げる資料を用意できたらと考えていると述べられた。

嶋崎議長から、景品とかは用意出来ないのかと質問があり、安室専務理事から、前回熱処理をイメージして作成したリーフレットに和光博物館のパンフレット等を配布する予定でいつことの報告があった。

嶋崎議長から、熱処理の裾野を広げるための投資と考えて準備出来るものがあれば予算を認めると述べられた。

第５号議案　各委員会等の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、７月２１日開催の第２回 BCP 推進 WG について議事録に基づき、報告があった。主な内容としては、①事業継続計画書について（様式 04 の見直しとイラストによるフローチャート）、②安否確認及びフローチャートについて（Google フォームの活用）、③防災・減災設備の取得に関するアンケートについて（発電機、止水板）、④次回１０月１３日（金）開催（危機管理産業展２０２３の視察を兼ねて東京ビッグサイトで対面開催）

玉木副理事長から、事務局からメール・FAX または電話で行っている安否確認をスピーディーかつ情報量を多く得て、どう復旧のサポートが出来るのかについて着眼を置いて活動して行くことと内閣府が主導している「危機管理産業展２０２３」は、防災・減災、BCP・事業リスク対策、セキュリティ等あらゆるリスクを網羅しているので、オブザーバー参加も歓迎する旨述べられた。

安室専務理事から、テスト用の Google フォームについて説明があった。

嶋崎議長から、Google フォーム自体について質問があり、安室専務理事から、イメージとしてインターネットを利用した無料で使えるアンケート調査であると説明があった。

後藤理事から、Google フォームで集計した後の展開について質問があり、玉木副理事長から、被災したと報告があった組合員企業にのみ第２弾の Google フォームを送って被災状況を確認し、どんなサポートが出来るのかを検討することを考えている。ただし、被災情報が漏洩しないようにすることが重要と考えている。

続いて安室専務理事から、９月１日開催の第２回総務委員会について議事録に基づき、報告があった。主な内容としては、①SDGs セミナーの内容について（SDGs の取組の具体例について組合員に情報提供を行う方向で検討することになり、特にカーボンニュートラルの取組について賛助会員企業にアンケートを実施中）、②情報提供について（DX 化、YouTube チャンネルの開設、企業対抗熱処理クイズバトル、）、③組合 HP（リニューアル後３年経過し、組合員及び賛助会員情報の未入力企業への再度の働き掛けと及び入力内容の更新）について、④外国人技能実習制度について。

熊木監事（総務委員長）から、SDGs やカーボンニュートラルに興味はあるが、具体的な方法が分からない状況なので、賛助会員の皆様にご協力いただいてセミナーを計画したいと考えていると説明があった。

嶋崎議長から、現実的なところで対応するしかない。エネルギー多消費産業なので、カーボンニュートラルの取組は、SDGs の環境問題に直接繋がって来るので、自分達の形で掘り下げて行くしかないと述べられた。

続いて安室専務理事から９月１１日開催のマーケティング委員会について議事録に基づき説明があった。主な内容については、①第６回価格サポートセミナーについて（対面開催、価格交渉での困りごとをテーマにグループディスカッション）、②購入品価格調査について（回答率５８．２%、７９社中４２社４６事業所）、③市場動向に関する情報交換。

曽根副理事長から、価格サポートセミナーについては、情報共有もあるが営業マン同士の交流・懇親もあり、対面開催になったことの説明があった。

後藤理事から、東部の委員会の翌日に開催された一般社団法人日本金属熱処理工業会のマーケティング委員会について報告があった。①購入価格調査結果については、各組合で価格のバラツキがかなりあり、特に東部は油関係が高かった。西部はメーカーや小売業者

も多くあり、価格競争が行われているのではないかとの意見があった。②熱処理業の配送業務ついて物流の自主行動計画を作成することの情報提供があった。③自動車工業会や自動車部品工業会と素形材団体と懇談した際に価格交渉については、労務費や物流費についても前向きに検討すると話があった

続いて９月１３日に開催された技術・品質合同委員会について議事録に基づき説明があった。主な内容については、①事業報告及び計画について（７月１日、２日開催の技能検定試験受験対策講習会の報告、７月２９日開催の中級熱処理塾、ISO 内部監査員養成研修会については、１０月、１２月にハイブリッド開催、実践型熱処理塾については検討中、ガス燃焼技術基礎研修会に見送り、１１月１７日工場見学会（中越合金鋳工㈱）、品質活動発表会は、メーカー監査対応で検討中）、②東京都の金属熱処理技能検定試験報告。

委員会終了後に東京都立産業技術センターと４年ぶりに対面で業種別交流会を開催し、施設見学と意見交換を行った。

横山理事から、実践型熱処理塾について、中外炉工業㈱の水素バーナーを使用しての浸炭熱処理について検討している。

藤田理事（技術委員長）から、技能検定受験対策講習会について、講師の先生から時間が短いと意見があるが、今回の試験結果を踏まえて検討したいと考えている。

秋山理事から、ガス燃焼技術基礎研修会については、引き続き代替機関を探して行くことになっていることと東京都立産業技術センターとの業種別交流会が対面で開催できたことが良かった。

嶋崎議長は、委員会活動について議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第６号議案　報告事項その他について

山田理事（青年部会長）から、資料に基づき、「組合まつり参加の目的」、「テーマ」、「昨年度の実績」、「昨年度の反省点を活かして」について説明があった。

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、９月６日に行われた故大屋和雄氏のお別れ会について、株式会社オーネックスよりお礼の連絡があったことの報告があった。

続いて７月の理事会で承認を得た令和５年度東京都中小企業団体中央会会長表彰について全候補者６名の受賞が決定したことの報告があった。表彰式は１０月１６日（月）に行われることと表彰状は受賞者の企業宛に送られるようになったことの説明があった。

続いて１０月１０日、１１日開催の第４２回日熱会（中部組合幹事）について参加者数等について報告があった。

嶋崎議長から、元副理事長の上島秀美氏の逝去について触れられ、上島理事から報告があった。

元理事長の故大屋和雄氏、元副理事長の上島秀美氏の冥福を祈り、黙祷を捧げた。

以上をもって、議案全部の審議を終了した。曽根副理事長より閉会を告げ散会した。

令和５年９月２０日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　　嶋崎 利行　　㊞

出席理事　曽根 光彰　㊞

〃　玉木 寛之　㊞

〃　安室 篤志　㊞

〃　池田 隆久　㊞

〃　伊藤 雄平　㊞

〃　宗村 進之介　㊞

〃　上島　健　㊞

〃　川崎 一郎　㊞

〃　秋山 正稔　㊞

〃　山田　毅　㊞

〃　富居 博治　㊞

〃　高橋　明　㊞

〃　横山 聡洋　㊞

〃　竹内 博次　㊞

〃　秦　研二　㊞

〃　藤田 亮則　㊞

〃　川村 道夫　㊞

〃　後藤 章洋　㊞

出席監事　熊木　宏　㊞

〃　近藤 恭二　㊞

〃　山口 直延　㊞